

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究題目	薬剤師によるポリファーマシーに関する情報提供の取り組み
研究期間	2019年1月4日～2019年12月31日
対象患者	当院に入院した患者さんのうち、入院日が2018年7月1日～12月31日であり、薬剤師が常用薬を確認し常用薬レポートを作成した患者さん。
対象期間	2018年7月1日～2019年3月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院
実施診療科	薬剤局
研究責任者	横手 克樹
意義・目的	薬剤局のポリファーマシー対策の新たな取り組みとして、2018年10月より入院時に薬剤師が作成する常用薬報告書にせん妄リスクのある薬剤に関する注意喚起および複数の消化性潰瘍治療薬が併用されている場合の注意喚起のコメントの表示（以下、「取り組み」という）を始めました。これらの取り組みにより、当該患者さんのせん妄リスク薬または消化性潰瘍治療薬の減薬につながったかどうかについて検証を行います。
研究の方法 （試料・情報の利用 方法・他施設への提 供方法を含む）	電子カルテおよび後利用システムを利用して、患者ID、入院日、退院日、常用薬レポート内容、退院時の服用内容等を抽出します。取り組み前の2018年7月1日から9月30日までに入院した患者さん（取り組み前群）と、取り組みを開始した10月1日から12月31日までに入院した患者さん（情報提供群）の2群に分け、抽出データを基に入院時に常用薬として内服していたせん妄リスクのある薬剤および複数の消化性潰瘍治療薬のそれぞれについて、退院時に薬剤数が減少した患者さんの割合を比較します。なお、公表する際、個人を特定できる情報は削除します。
利用・提供する試 料・情報の項目	患者ID、入院日、退院日、常用薬レポート内容、入院中の持参薬継続有無、退院時薬の服用内容、せん妄リスク薬剤の他剤へ変更となった場合の薬剤名、薬剤師の減薬提案内容 等
試料・情報の 提供の有無	試料・情報の他施設への提供 なし
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	中国病院薬学研究会および薬剤師関連の学会にて発表予定。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

薬剤局 横手 克樹

（主担当：安食 健一）

電話：0853 - 22 - 5111
